

公表

事業所における自己評価結果

放課後デイサービス

事業所名	こども発達未来スタジオippo 三日月教室		公表日		令和7年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・職員から目が届きやすいようにしています。 ・活動スペースを確保しています。 ・利用人数やプログラムにより配置を考えています。 ・家具の配置を変更し広々とした部屋で活動を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・有資格者の職員が多く手厚く関わることができる人数が配置されています。	・利用者の人数が増えた場合支援の充実を図るため職員を増やす必要があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・わかりやすく明るい空間で過ごしやすいようにしています。 ・子どもたちがわかりやすい教材の配置や掲示物が過多・雑にならないように配慮しています。 ・静・動の部屋を分けています。	・段差がある部屋もあるため、今後も使いやすいように環境整備を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・時間を決めて清掃を行っています。 ・利用後は、丁寧に清掃しています。 ・定期的に整理整頓・模様替えを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・子どもたちが使用目的に合わせて自ら選択し自由に使用したり、活動内容によって個人で集中できる空間もあります。 ・子どもから要望がある場合は、職員が一人つくようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・月間計画に基づきモニタリング、ミーティングを行い、職員間で意見交換し目標を決定しています。	・引き続き、PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者向け評価表による意見を職員で確認し、改善が必要であれば速やかに対応しています。 ・意見交換しやすい環境を整えています。	・日頃から要望を話しやすいように関係を築いていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・前回の振り返りを行いサービスの向上につながるよう打ち合わせを行っています。 ・毎日意見交換しやすい環境を整えています。 ・ミーティングを行い、振り返りと目標をきめています。	・引き続き、職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・第三者による外部評価は行っていません。	・第三者評価の実施については今後の検討課題としてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・業務に必要な資格取得を目指すなどスキルアップに努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・5領域に基づきプログラム作成しHPにて公表しています。 ・毎日異なったプログラムを設定しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・課題、ニーズの整理を行い、個々の特性に応じた計画立案に繋がるよう努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・実際に支援に入っている職員と課題について話し合ったうえで計画を立てています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援方法についてうまくいった支援、場を共有し計画内容に反映しています。 ・個別支援計画はいつでも確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・日々の活動や長期休みのプログラムは子どもたちにとって実りある経験となるように職員でミーティングを行い計画をしています。	・活動内容のねらいを明確にして、全職員で統一した支援を実施できるように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・17と同じようにスケジューリングをしています。 ・毎日違うプログラムを行っています。	・これからもお子さん一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの作成に努めます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・子どもの特性や興味関心、必要に応じて個別と集団の活動それぞれの参加を促しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝礼で個々の引継ぎを行い利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・振り返りの内容を次回以降の利用時へと引きつぎ必要に応じて支援方法の調整を行っています。保護者からの連絡事項も確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日報を利用し、おこった問題についてはその日のうちに共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・利用者、保護者と定期的なモニタリングを行い計画を見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・5領域に基づいた支援を行っています。 ・長期休みや一日利用時は、より幅広く充実した活動を提供しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	・「いいね！」ポイントを活用し、活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・主に児童発達支援管理責任者と支援担当者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	・送迎時学校の先生と話す時間を作り情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・これまでご要望がありませんでしたが、情報提供等をする体制はあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	・現在行っていません。	・今後連携し取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・近くの公園などで一緒になった際は遊ぶことができます。	・実施できていないが、今後交流する機会を増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	現在は参加していません。	・今後参加できるように検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・その日の様子を送迎時や連絡帳の記載、電話連絡を行い発達状況や課題の共有を行っています。 質問に答える時間を設けながら保護者の方と共通理解が図れるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・ペアレント・トレーニングは行っていませんが、必要に応じて面談やアドバイスをしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・利用者、保護者同伴のもと見学・体験をしていただき説明後、ご納得の上で契約を結んでいます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・定期的なモニタリングを行い、近況をお伝えしたり、支援内容を説明したうえで次期個別支援計画の作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・必ずお会いして説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・相談があった際には必要に応じて面談を実施しています。 ・送迎時など面談以外にも随時行っています。	・今後も継続して個別相談に応じながら本人が安心して過ごせるよう支援を行っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	・保護者会は開催していません。	・感染リスクを鑑みて実施できていませんが、今後交流する機会を増やしていくよう検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	・お便りや面談等で相談に応じる旨をご案内しています。 ・送迎時、電話連絡、ラインにて保護者から問い合わせ頂いています。 ・苦情や苦情に発展しそうなケースは迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・活動の様子はHPやSNSにて公開をしています。 ・毎月行事予定表や教室だよりの発行をしています。	・引き続きより良い活用方法を検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付キャビネットを使用しています。 ・契約時に説明を行い同意書を作成しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	・お子さまには絵カードや視覚支援ツールを用いています。保護者へは送迎時や連絡帳、ライン、電話などで対応をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・現在実施していません。	・感染リスクを鑑みて実施できていませんが、今後交流する機会を増やしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・マニュアル作成、避難訓練等を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・全職員がガイドラインを確認している。 避難訓練を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時、定期受診で変化がみられる際に保護者と情報を共有しています。 ・服薬する場合は与薬依頼書の記入をお願いしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・医師の指示書はないが、クッキング等で食品を扱う際は保護者へ必ず聞き取りを行いアレルギー情報を共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・活動として施設周辺の危険な場所を確認したり避難場所や経路を確認したり練習をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時にお伝えしています。	・今後も保護者の方へよりわかりやすい周知方法を検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。 ・振り返りを行い再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・研修会を実施しています。 ・事業所内にモニターカメラを設置しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・行動制止についての申し合わせ事項を契約書に記載しています。	・突発的なトラブル対応について再確認する必要がありますが今後の検討課題としてまいります。	